

わが家をいつまでも快適に！

誌上メンテナンス講座

Vol.
35

>> 玄関ドアの調整とお手入れ方法

バックナンバーは
OWNER'S WEBで!!

**防犯上最も大切な部位だからこそ、
鍵の掛かりが悪いなどの問題は早急に対処しましょう。**

毎日開閉する玄関ドアは、長年使用していると不具合が生じます。しかし、セルフメンテナンスで調整できることが多いので、「ドアハンドルのガタツキ」や、「鍵が掛かりにくい」などと感じたら、早めにお手入れして玄関ドアが正常に開閉、施錠できるように心掛けましょう。

※ご使用前に必ず、製品の取扱説明書および注意事項をお読みください。

※シリコンスプレーは鍵シリンダーに使用しないでください。



【技術監修】植月 英貴
トヨタホーム アフターサービス
担当DIYアドバイザー

01 ラッチボルトのお手入れ

ラッチボルトの不具合は、ラッチボルトの隙間に汚れがたまり、動きが悪くなる場合が多いので、数ヶ月ごとにお手入れをしましょう。

【お手入れの目安】 数ヶ月ごとに

【お手入れにかかる時間】 約10分

【用意するもの】 シリコンスプレー、ウェス、手袋

1 玄関ドアを開けた状態でラッチボルトの状態を見ます。



ラッチボルトを押し込んだりして状態を見ます。ドアハンドルを引ながら、ラッチボルトを少し押すと、左右にも動かすことができます。

※ラッチボルトが出ていない場合は、ラッチボルト本体の異常です。

2 乾拭きをします。



乾いたウェスでラッチボルトやその周りを乾拭きします。

3 シリコンスプレーをウェスに吹き付けます。



ウェスにシリコンスプレーを吹き付けて、浸透させます。

4 シリコンスプレーを吹き付けたウェスでラッチボルトの汚れを取り除きます。



ラッチボルトが出た状態で拭きます。

ラッチボルトを押し込んだ状態で中側を拭きます。ラッチボルトを右側に押した状態で中側を拭きます。

02 鍵の掛かりが悪くなったときの調整方法

鎌錠が掛からなくなる原因は、外出時に行うドアの施錠確認。閉じたドアを前後に「ガチャガチャ」するお馴染みの行為によって、ストライクの位置に少しずつズレが生じ、鎌錠が掛からなくなります。「鍵の掛かりが悪くなった」と感じたら、ストライクの位置を調整しましょう。

【お手入れの目安】／ 鍵の掛かりが悪くなったとき

【お手入れにかかる時間】／ 約10分

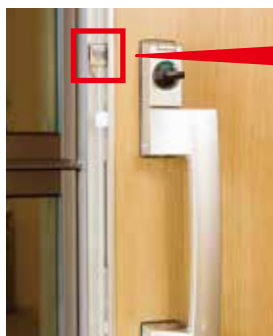
【用意するもの】／ プラスドライバー、手袋

部 位 の 名 称

- 各メーカーの取扱説明書や使用上の注意書きを必ずお読みください。
- 調整やお手入れを行う際は、手袋をご使用ください。



1 サムターンを回して鎌錠の掛かり具合を確認します。



次に玄関ドアを閉じた状態でサムターンを回して施錠してみます。

【手動の場合】
サムターンが回りきらない場合は調整が必要です。

【ラロック電気錠の場合】
カチャカチャという音と共に「正しく施錠できません」と音声案内が流れたら、調整が必要です。

まずは、玄関ドアを開けた状態でサムターンを回して、鎌錠がスムーズに出入りするかどうかを確認します。

2 ストライクの位置を調整します。



上下のネジを少しずつゆめ、ストライクを動かして位置を調整します。サムターンを回して鎌錠が掛かるか確認しながら、適切な位置でネジを締め固定します。掛かりがスムーズでない場合は、再度ストライクの位置を調整します。鎌錠がスムーズに掛かれば完了。※注意:ビスは絶対はずさないでください。

ポイント ストライク位置を調整後、錠を掛けた状態でドアを前後に動かし同じ間隔であれば錠が中心にあるので、いい状態です。

3 ストライクの位置の調整が2箇所とも必要な場合。



もう一つのストライクも同様の作業で、位置を調整します。※鎌錠のお手入れもラッチボルトと同様です。

03 ドアの開閉速度の調整方法

ドアがスムーズに開閉しなくなったら、ドアクローザーをチェックしましょう。ドアの開閉速度は3段階に分かれており、ドアクローザーの速度調節弁で調整することができます。調節ネジはドアの開く区間に対応しているので、まずはどの区間の調子が悪いのか確認してください。

1 3つの区間をそれぞれ確認します。



イラストの「第1区間」は「速度調整弁①」と書かれたネジ、「第2区間」は「速度調整弁②」と書かれたネジで調整します。

【お手入れの目安】／半年に1回

【お手入れにかかる時間】／約40分

【ドアクローザーの調整】／約20分

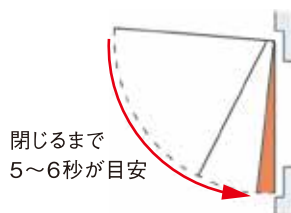
【アームストッパーのネジ締め】／約20分

【用意するもの】／プラスドライバー、脚立、手袋

2 各区間のネジを回して調整し、開閉速度を確認して完了。



プラスドライバーを使って4分の1回転ずつ回しながら、速度を調整します。時計回りに回すと速度が遅くなり、反時計回りに回すと速度が速くなります。※ネジを一度に回し過ぎないように注意しましょう。



ネジを4分の1回転ずつ回すごとに、ドアを閉めて速度を確認します。各区間が適正速度で閉まれば完了です。90度に開いた状態からしっかりと閉まるまで5～6秒が、速度の目安です。

3 アームストッパーのネジ締めも行いましょう。



ネジのゆるみもドアの開閉スピードに影響します。半年に1度はドアクローザーの各部位をチェックして、ネジの締め付けを行ってください。アーム部分の六角ボルト(M5)をドライバーまたはレンチでしっかり締めてください。

注意 脚立を安全に使いましょう。

脚立を使う際は、足を広げて最上段を挟むように立ちます。天板の上に乗ったり、足の掛かりが少ないと不安定になります。足を踏みはずしたり後方に転倒したりしないよう、バランスを保ちながら使用しましょう。

脚立の正しい乗り方



脚立の間違った乗り方



スマートフォンやパソコンからOWNER'S WEBにログインしていただくと、今回ご紹介した3つの「お手入れ動画」をご覧いただけます。

